

主催：北九州市/アジア低炭素化センター

共催：JETRO 北九州、北九州貿易協会

後援：九州経済調査協会

ミャンマーセミナー 北九州

～アジア最後のフロンティア・ミャンマーの実像～

ミャンマーは、豊富な鉱物資源や、タイに匹敵する約6,000万人の人口を有し、民主化の進展とともに、海外からのビジネス・投資を呼び込む環境も整備されつつあることから、東南アジア最後の「フロンティア」として、多くの海外企業等からの関心を集めています。

本セミナーでは、ミャンマーの現状や今後、またメコン地域全体の観点から、特にミャンマーのダウエイ開発についてご講演をいただきます。

さらに、ミャンマーに進出している市内企業から、現地の生の状況をご講演いただきます。

日時 平成25年11月14日(木) 14:00～16:30

場所 AIMビル 3階 311会議室
(北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)

定員 100名

参加無料

申込締切 平成25年11月8日(金)

※裏面申し込み用紙を、FAXでお送りください。

プログラム

■第一部

ミャンマーの現在と未来

九州経済調査協会 調査研究部

主任研究員 大谷 友男 氏

(休憩)

■第二部

メコン経済圏の拠点としてのタイとダウエイ開発

タイ国家経済社会開発委員会

政策顧問 松島 大輔 氏

■第三部

ミャンマー進出の実情

第一交通産業(株) 顧問 高柴 剛 氏

講演者プロフィール

■ 第一部 講演者 大谷 友男 氏

1999年九州経済調査協会入職。2013年より同協会主任研究員。専門分野は、観光・交通、地域振興、経済地理学。平成24年度北九州市からの委託調査「ミャンマー交流可能性調査」を担当。

■ 第二部 講演者 松島 大輔 氏

1998年通商産業省入省。2006年から4年近くインドに駐在し、インド経済の勃興と日本企業のインド進出を支援。その後、タイ、ミャンマーなどで数々のプロジェクトの立ち上げと推進を通じ、アジアにおける日本企業のビジネスを実地に見聞。2012年より、日本政府からタイ政府政策顧問として出向中。

■ 第三部 講演者 高柴 剛 氏

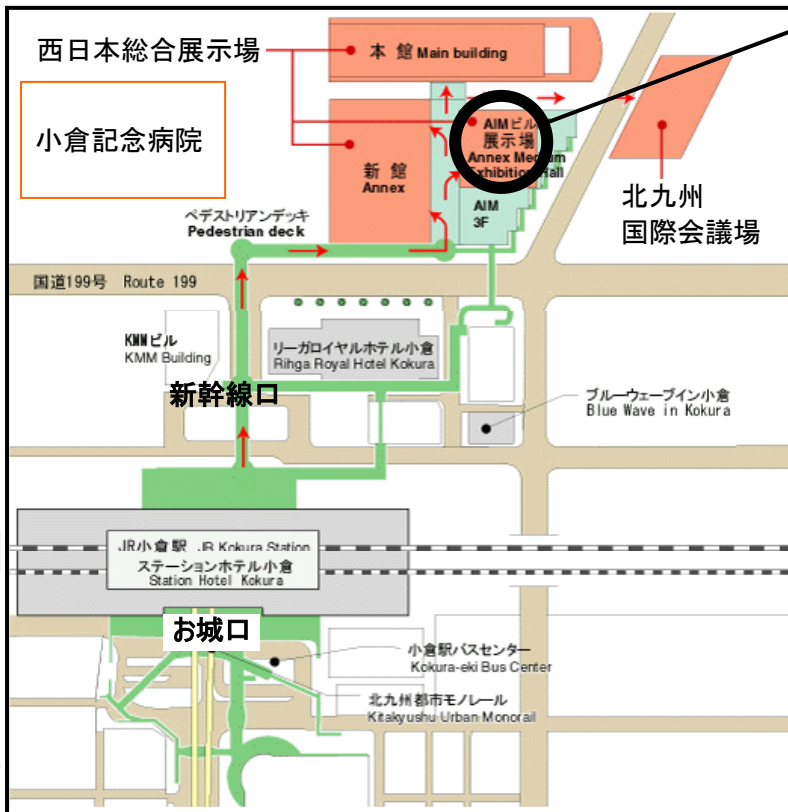
1984年日本郵船入社、その後リクルート・ロサンジェルス駐在事務所長、日本航空人材開発グループ長、日本ペリサイン(現 シマンテック)執行役員、経営共創基盤顧問、みちのりホールディング取締役副社長、福島交通取締役等を経て、2012年から現職。



11月14日(木) ミャンマーセミナーin 北九州 参加申込書

FAX 093-582-2176 北九州市国際政策課

担当:辰本、小田 行



■場 所

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1

AIMビル 3階 311会議室

(子育てふれあい交流プラザ隣)

施設連絡先 (093)541-5931

JR 小倉駅新幹線口から徒歩5分

※AIMビル2階ガレリアから3階へは

エスカレーターをご利用ください。

※駐車場はご用意しておりません。

■お問合せ先

総務企画局 国際政策課

担当:辰本、小田

TEL:(093)582-2146

環境局 アジア低炭素化センター

担当:園、吉村

TEL:(093)662-4020

参加者	人		
団体名			
所在地			
出席者		役職	
出席者		役職	
出席者		役職	
担当者		連絡先	TEL E-mail
備考	※ 講師へのご質問等をご記入ください。(全ての質問にはお答えできない場合があります)		

本申込書にご記入いただいた情報を元に、事業の参考にさせていただくため問い合わせをさせていただくことがあります。また、記載された情報は講師にお知らせすることがあります。予めご了承ください。